

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【公開番号】特開2017-114375(P2017-114375A)

【公開日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2017-024

【出願番号】特願2015-253055(P2015-253055)

【国際特許分類】

B 6 0 B 35/18 (2006.01)

F 1 6 C 41/02 (2006.01)

F 1 6 C 19/18 (2006.01)

F 1 6 C 25/08 (2006.01)

B 6 0 B 35/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 B 35/18 A

F 1 6 C 41/02

F 1 6 C 19/18

F 1 6 C 25/08 Z

B 6 0 B 35/02 L

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月8日(2019.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両に取り付けられる軸受装置であって、
環状の第 1 軌道面を外周面に有する第 1 軌道部材と、
前記第 1 軌道部材の外周に配置され、前記第 1 軌道面と対向する環状の第 2 軌道面を内周面に有する第 2 軌道部材と、
前記第 1 軌道部材と前記第 2 軌道部材との間に配置され、前記第 1 軌道面及び前記第 2 軌道面に接触角をもって接触する複数の転動体と、
前記第 1 軌道部材の軸方向の一端部に配置される押圧部材と、
前記軸受装置への入力荷重と前記押圧部材の押圧力との予め定められた対応関係に基づき、前記車両の走行状態に応じた入力荷重から押圧力を特定して、特定した前記押圧力で前記第 1 軌道部材を押圧するように前記押圧部材を制御する制御部と、
前記対応関係を記憶する記憶部と、
を備え、

前記対応関係は、前記軸受装置への入力荷重の変化に対して前記第 1 軌道部材と前記第 2 軌道部材との相対的な傾きが線形に変化するように、前記入力荷重に応じて前記押圧力が定まる関係である、軸受装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の軸受装置であって、

前記制御部は、前記車両が直進状態である場合、前記第 1 軌道部材を押圧しないように前記押圧部材を制御する、軸受装置。